



## 生徒会テーマ 「共に磨く ~明るい未来を切り開け~」

11月24日(火)生徒総会が行われ、後期生徒会がスタートしました。

生徒会の年間のテーマは「共に磨く~明るい未来を切り開け~」となっています。「磨」の漢字の意味を調べると

- ①「磨(みが)く」:「こすって汚れをとったり、美しくしたりする」
- ②「磨(と)ぐ」:「米などを水の中でこするようにして洗う」
- ③「磨(す)る」:「物に他の物を強く触れ合わせて動かす、こする」

とあります。どの意味にも、「物に他の物を強く触れ合わせる」動作があります。そこで「共に磨く」とは、「大門中学校の生徒同士がお互いに深く関わり合う中で、心身共に磨いて向上させる」ことを表していると思います。その中には、何かしらの人間関係のトラブルもあるかもしれません。完全な鉄球を作る時、まだ凸凹のある鉄のかたまりをまとめて容器に入れ、ゴロゴロと回転させ、お互いの凸凹を削ることのできる鉄球が作られるとのこと。同じように、時にトラブルがあっても、そのことを通じ、お互いの欠点を削り合い、互いの人格を向上させることも「共に磨く」の一つと言えるでしょう。

11月中、1学年生徒会では、「ありがとうweek」というキャンペーンを行いました。1日に3回以上、「ありがとう」と言えた日には、ありがとうタワーに色を塗る活動を行い、約70%の達成率で終了しました。生徒の振り返りエピソードには、

- **ただ国語のワークを集めたり、配ったりするだけで「ありがとう」と言われて、すごく「優しいな」と思いました。僕も同じように「ありがとう」と言える人間になりたいです。**
- **授業中に友達の分からないところを教えてあげると、相手が笑顔で「ありがとう」と言ってくれました。**

などがあり、充実した活動になったと考えています。

- **この活動中だけでなく、この活動が終わっても続け、あったかい学校にしていきたいと思ひます。との思いが現実のものとなるよう、「共に磨く」活動を展開したいと思ひます。**

## 12月・1月の行事

<b>【12月】</b> 7日(月) 生徒会委員会 11日(金) 貧血検査 18日(木) 2学期振り返り集会 21日(月)~23日(水) 午後 保護者会	24日(木) 受賞集会 終業式 給食終了 25日(金)~1月7日(木) 冬季休業 <b>【1月】</b> 8日(金) 始業式 給食開始 27日(水)、28日(木) 中間考査
--	--

## ものづくり教育事業講演会

11月27日(金)県内の6業種の講師をお招きし、「ものづくり教育事業講演会」を開催しました。今、中学校で学ぶことの大切さ働くことの意義を学ぶことができました。

冬休みには、この学習を受け、「身近な人の職業調べ」を課題に、インタビュー活動を行う予定です。



- 「いろはす」の水源地は、日本に6カ所しかないと聞き、それだけ水にこだわってすごいいいと思ひました。軟水と硬水を飲み比べました。硬水の方は苦くて、軟水は味がすっきりしていて、水にも種類があるのだと思ひました。(コカ・コーラ)
- 今日の講演で一番心に残った言葉は、「やりがいを見つけた=個人が成長している」です。自分が楽しくなかったら、行動に影響したり、やりがいを感じなかったりしてしまうから、「どんな小さなことでも、目標をもつことが大切」だと教えていただきました。(村田製作所)

○ 一番心に残っていることは「今やっている教科は、将来必ず役に立つ」ということです。僕は今まで、学校の勉強にはあまり意味がないと思ひていました。今日の話聞いて、「勉強をしよう！」という気合いが入りました。(村田製作所)

- コンピュータは、計算や、繰り返す作業は得意だが、創造(作る)ことは苦手だと分かりました。大きなソフトウェアは、チームで作ると知り、集団の力も必要だと思ひました。製品をテストするのに、残業することもあり、とても大変な仕事だと思ひました。(インテック)

- 高校時代に科学の面白さに気づき、科学の世界に入られたそうです。働くには、自分がやりたい、楽しいという前向きな気持ちが必要だと感じました。「今、誰かの役に立っていると、思うと続けられる」ことを教わりました。(ユニゾーン)

- 実験では、細かい作業をたくさんしておられ、「毎日こんなことをしているんだ」と思ひました。「疑問をもって作業するのは大事。」「与えれば返ってくる。」という言葉が印象に残りました。興味をもってチャレンジしたいと思ひます。(アイザック)



- 一つの箱ができるまでに60時間も光を当て、色が変わらないかの検査をして、もっと製品がよくなるよう努力しておられることを知りました。今日、聞いたことを活かして、気になる仕事、挑戦したいことを見つけていきたいと思ひました。(朝日印刷)



## 「頭がよくなる方法とお口の健康法」

11月25日(水)真生会デンタルクリニック院長 稲田雅一先生をお招きし、「歯と口の健康づくり講演会」を開催しました。「1口30回噛む健康法」を分かりやすく教えてくださいました。講演後、給食でこの健康法を実践する生徒も見られ、実りあるものとなりました。



<p>僕は1口5回しか噛んでいないので、1口30回噛むのは少し遠く感じました。これを続けるだけで、姿勢がよくなったり、頭がよくなったりと利点が多く、絶対続けようと思ひました。</p>	<p>私は鼻呼吸だけど、日常口呼吸をしていると、危険なことがたくさんあると知って驚きました。気をつけて生活したいと思ひました。</p>
<p>頭と口には何の関係もないと思ひていたが、今日のお話を聞いて、とても深い関係がありびっくりしました。しかも、噛めば噛むほど頭も発達するのはすごいいいと思ひました。</p>	<p>歯の健康は、健康・学力・身長によい影響があるので、自分の歯を大切にしたいです。このことを家族にも伝え、家族みんなで歯の健康を保っていききたいです。</p>
<p>実験・調査の結果、よく噛んで食べると、テストの点数が上がっているのを聞き、しっかり噛んで食べることはとてもよいことだと思ひました。</p>	<p>よく噛むと学力が上がり、消化もよくなることが分かりました。噛むことは姿勢にも影響があり、体のゆがみにつながることを知りました。元気に過ごせるようにしたいです。</p>

頭をよくするには、よく噛む食べ物(スルメ、大きめに切った物、皮付き果物)がいいと言われました。よく噛むことを意識してご飯を食べようと思ひます。